

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	太陽の子東小岩保育園
施設所在地	江戸川区東小岩5-11-14
法人名	HITOWAキッズライフ株式会社

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然 「しょくぶつ」

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

日頃から戸外活動中に自然に触れる機会が多くありその中で子どもたちのつぶやきや、疑問に思う声が聞かれていた、そのため、図鑑等で自然植物や、小動物に興味が高まるように進め、観察をすることで新たな発見を楽しむ姿が見られるように自然について設定を考えた。

2. 活動スケジュール

【子ども会議で活動の方向性を決める】

6月

どんなものを観察したいか、どこで観察したいか、子どもたちの意見を聞く。自然観察の話し合いを行いどんな探索活動を進めたいか意見をきく。大きさ比べ、重さ比べをするために秤や虫眼鏡などを購入。話し合いの経過を共有するために担任がその場で模造紙に記入を進めていった。

【図鑑で知識を深める】

7月～9月

暑さにより戸外活動ができない時期のため、図鑑を見ながら春の間に発見した植物の知識を深める

【散歩（戸外活動）の再開、探究を深める】

10月、11月

散歩を通して発見した自然物の気づき、不思議を感じたことの発表を出し合う。

再度保育士同士で、図鑑の読み合い環境の評価、現状の改善点や追記した方が良い環境設定を話し合う。☑

11月、12月・見つけた自然物を観察し大きさ、形、気づき、不思議を話し合い観察記録をする。

数や大きさ、重さ、長さを比べてみる。散策場所やどんなところにあるのか子どもたちと探検する。

散策方法を考える。見つけた自然物をどのように観察できるか準備を整える

12月・探検や自然物の観察での気づきを子どもたちと話し合い、次回の観察探検につなげる。

【制作活動につなげる】

12月 落ち葉を模造紙に貼り付けたり、自然物のお絵描き、集めた自然物でどんな遊びができるか話し合いドングリのマラカス作りへと展開し、日常的に楽器遊びを始める。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

環境 自然物に親しむことができる公園選びを行う。

準備物 秤、虫眼鏡、図鑑、模造紙、自然物、模造紙、制作の為コップ、画用紙

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

①学ぶ・・・自然物に関する絵本を読み、子ども達の興味関心を引き出した。

②観察・・・戸外へ出かけ、落ち葉やどんぐり拾いを行った。

③探求活動・・・虫眼鏡で落ち葉の葉脈を観察したり、秤で重さの研究を行った。

④表現・・・落ち葉を模造紙に貼り付けて大きさ比べを行った。

⑤探求活動・・・自然物の観察、お絵描きやどんぐりのマラカス作りを行い、作ったもので楽器あそびを楽しんだ。

⑥振り返りと発信・・・できた制作物での遊びを通してこれまでの活動の振り返り発信をする。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

戸外へ出かけた際には、保育者に様々な形の落ち葉やどんぐりを見つけたことを伝え、喜び合う姿が見られていた。また、虫眼鏡を使った観察では、普段見ることができない落ち葉の細かな部分の気付きを友だちと共有していた。マラカス作りでは、どんぐりの音を楽しみ、制作を通して自然に親しむことができていた。

・図ったり、重さ比べでは、「こんな大きな葉あったね」「僕のが大きい」と友達とのやり取り、違いに気づけた。また、虫眼鏡での観察でも「たくさん線があるね」「こんな形だね」「見てみて」など観察で気づいたこと感動したことを保育者や友達に共有する姿が見られた。

細かく見ることで、新しい発見(筋があるとか)。発見を友達に共有したい、という気持ちの高まり。同じことに気が付いたという共感性。一人の発見がみんなに伝わる体験ができたと思う。また、マラカス作りの際にも、「カラカラ」「コンコン」と音の出る感じ方をその子なりに発表し合えたことも良い気づきになったと思う。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

これまでの散歩では自然物に観察する姿が多かった、今回の話し合いをもとに戸外へ出かけ、自然物に親しむことで、季節の変化を感じる事に繋がっていたので良かった。また、今まで見ていたものでも新たに観察することで様々な種類、大きさの葉っぱがある事、筋があることや色が異なること、どんぐりにも様々な大きさがある事など、子どもたちの発見や気づきを引き出すことができていたので良かった。そのことにより子どもたちの自然への探究心が深まった。また一人の発見がクラス全体に広がり、次の発見や気づき、次の活動につながっていったように思えた。

自然活動から発展させてマラカス作りを行うなど、自然に親しむことができていたので良かった。今後もこれらの活動を生かして、四季を感じながら自然に触れる環境を整え、子どもたちが意欲的に気づき、探求心を高められるように進めていきたい。

今回の体験をもとに次回は五感を育てる活動へと「テーマ」を決めながら子どもたちと探求心を高めていきたいと感じた。

今回は見るに焦点を当てたが、音、臭い、触覚など、身近にある自然物や生活の中から深めていきたいと思う。